



P-PDB



PB28

## 「このとり」5号機/H-II Bロケット5号機打ち上げ

8月19日(水)午後8時50分49秒、種子島宇宙センターにおいて、宇宙ステーション補給機「このとり」5号機を搭載したH-II Bロケット5号機の打ち上げが成功しました。このH-II Bロケットには、当社が開発を担当した画像圧縮伝送装置(PCE)およびロケット搭載カメラ3台、照明装置が搭載され、打ち上げから宇宙到達までの状況を監視しています。

また、「このとり」により国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟に運ばれる、多目的実験ラックの電源装置の一部(P-PDB)と、各種実験機器用の28V電源ボックス(PB28)もそれぞれ担当しています。このほか、ロケット打ち上げ時の種子島上空の気象を確認するために、ラジオゾンデによる観測も行っています。

(担当:宇宙防衛事業部)



感謝状と担当者

## 宇宙航空研究開発機構様より感謝状をいただきました

当社は、D-SENDプロジェクトにおいて、高度1kmに係留した小型気球を用いて、高度方向の複数個所にマイクを設置して、ソニックブームを計測するブーム計測システム(BMS)の製作と、スウェーデンで行われた実証試験でのBMSの設定・動作確認、および設置支援を行いました。

このたび、無事現地試験を終了したことにより、宇宙航空研究開発機構航空技術部門主催の授与式において感謝状をいただきました。

この感謝状を励みにして、これからも宇宙航空分野の発展に貢献できるよう開発を続けます。

D-SENDプロジェクトについては以下のJAXA様ホームページをご覧ください。

<http://www.aero.jaxa.jp/research/frontier/sst/>

(担当:宇宙防衛事業部)



BMKGの方々との記念撮影

## インドネシア気象局来訪

この度当社は、インドネシア気象局(BMKG)よりラジオゾンデネットワークシステムを受注し、8月4日から6日まで伊勢崎本社にて本ネットワークシステムの教育と立会検査が実施されました。

現在、インドネシアには当社のラジオゾンデを使用した観測局が16局稼働しています。このネットワークシステムは16局をネットワーク接続し、観測状況の監視、観測データの自動収集がBMKG本部で可能となり、リアルタイムにデータの共有ができるシステムです。教育、立会検査とも滞りなく終了し、インドネシア気象局の方々からはネットワークシステムについて高い評価をいただきました。

今後も顧客満足度を上げるためのさまざまな提案を行っていき、海外市場への浸透を図っていきます。

(担当:気象防災事業本部グローバル営業グループ)

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。